

収穫したもち米で「おかき・もち・団子・いちご大福」 道の駅かさまで児童が「販売体験」

2月22日(土) 午前9時～午後4時

稲田小学校では、勤労生産活動として農家の方のご協力をいただき、学校付近の水田で、もち米を栽培しています。

11月30日(土)に道の駅かさまで「販売体験」を行った際は、自分たちで作ったお米を、元気な売り声と笑顔を添えて、みんなで完売することができました。

今回は、販売体験第2弾!! 地元企業協力のもと収穫したもち米が「おかき・もち・団子・いちご大福」に姿を変えて加工販売します。

1 ねらい

- ① 4・5・6年生が行った「もち米作り体験」を通して、収穫の喜びを味わい、働く方の日頃の努力と工夫に感謝の気持ちを持つ。
- ② もち米販売や地元企業と連携したもち米加工商品の販売活動をとおして、協力することの大切さを味わい、お客さまとの対話などのコミュニケーション力を高める。
- ③ 稲田小の活動を発信することで、自分たちの活動に自信と誇りを高めるとともに、参加した児童一人一人の自己有用感を高める。

2 日時

2月22日(土)午前9時～午後4時

3 場所

道の駅かさま 多目的広場(笠間市手越22-1)

4 参加児童

4・5・6年生児童22名(4年生8名、5年生9名、6年生5名)

5 その他

- ① この事業は、本校で初めての取り組みです
(11月の「もち米販売体験」に続き、第2弾の販売体験です)。
- ② 11月に販売したもち米の収益を活用し、おかき業者に加工を依頼しました。また、もち・団子・いちご大福は、地元の菓子店が子どもたちの販売活動に賛同・協力してくださり、今回の加工・販売につながりました。

11月30日(土)販売の様子



この件に関するお問い合わせ

笠間市立稲田小学校 担当:川松(教頭)

電話番号:0296-74-2301 ファックス番号:0296-74-2306

e-mail:510411@sch.ibk.ed.jp